

廃プラでインテリア製品

樹脂製品製造のみのる化成(赤磐市下市)は、廃プラスチックを活用したインテリア製品の開発を本格化している。今春投入した家庭菜園用ミニポットなど一連の製品を「エコ」をキーワードにブランド化し、全国のインテリアショップに売り込む。主力の自動車部品の需要が低迷する中、新規分野を開拓し収益力を強化する狙い。

みのる化成が開発本格化



みのる化成が開発した「カラフルキューブ」。廃プラスチックを使った新製品を継続的に投入し、ブランド展開する

家庭菜園用ミニポットなど

「エコ」鍵に新分野

家庭菜園用ミニポットは7・5センチ四方の立方体。廃プラの再生材を業者から仕入れ、溶かして金型に流し込む射出成型で加工する。ミニポットのほか、関連会社で農業機械メーカーのみのる産業(同所)が開発した繊維と育苗用土を混ぜた特殊な固化培土、肥料や植物の種などをセット販売。固化培土は保水性と通気性に優れているため、根腐れなどが起きにくく、手軽に栽培が楽しめるという。商品名は「カラフルキューブ」。インテリアとして映える明るい緑、オレンジ、黄色をアとして映える明るい色に製造し、カラフルキューブと合わせ「ecot(エコット)エコット・オリジナル・トレジャーの略Plus」としてブランド展開する。みのる化成は昨年7月、廃プラを使ったタングスターを開発。サッカーJリーグ2部・フジタアール岡山などのオフィシャルグッズ向けに製造し、カラフルキューブと合わせ「ecot(エコット)エコット・オリジナル・トレジャーの略Plus」としてブランド展開する。

みのる化成は昨年7月、廃プラを使ったタングスターを開発。サッカーJリーグ2部・フジタアール岡山などのオフィシャルグッズ向けに製造し、カラフルキューブと合わせ「ecot(エコット)エコット・オリジナル・トレジャーの略Plus」としてブランド展開する。

ンド展開する。インテリアショップのほか、近く自社ホームページで通信販売も始める。第3弾として、ベランダや窓辺にも置ける家庭菜園向けプランターの開発に乗り出しており、今後も「エコでかわいい自分だけの宝物」をコンセプトに、デザインや機能性の高い製品を継続的に投入する計画。

以降の景気低迷で需要が減退。昨年、社内プロジェクトチームをプロジェクトチームを発足し、付加価値の高い自社製品の開発を模索していた。「環境への関心が高い女性をターゲットに、製品群を増やして全国に販路を広げ、将来的には中核事業の一つに育てたい」としている。

同社は1961(昭和36)年設立。資本金4500万円。売上高56億円(2009年12月期)。従業員約250人。(大河原三恵)

